

川崎市の訓練実施結果

訓練の 目的	首都直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図ることを目的とする。
日 時	令和 7年 8月31日 (日) 9:00 ~ 12:00
会 場	川崎市立川崎総合科学高等学校、多摩川河川敷（小向仲野町少年野球場・多摩川緑地（小向仲野町地区））
規 模	参加機関（団体） 32機関、 参加人員 800名
想定地震	(1) 想定規模 川崎市直下を震源とする地震 (2) 地震規模 マグニチュード7.3 (3) 最大震度 7
訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 自主防災組織による初動対応訓練 2 避難所開設訓練 3 避難所運営訓練 4 区本部訓練 5 避難所医療訓練・二次避難所移送訓練 6 救援物資緊急輸送訓練（受入） 7 燃料補給訓練 8 災害ボランティアセンター運営訓練 9 情報収集・道路啓開：緊急交通路確保訓練 10 救出救護訓練 11 一斉放水訓練 12 ライフライン復旧訓練 13 啓発・展示

<p>訓練の特徴</p>	<p>「大地震発生当日」「大地震発生から3日後」と、2つの災害フェーズに分けて実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「大地震発生当日」を想定した訓練 発災直後の市街地において、自主防災組織による救助や初期消火活動、避難所開設等の共助の活動を実施する。また、市及び各防災関係機関が相互に連携して、情報収集や道路啓開、救出救護活動を実施。 2 「大地震発生から3日後」を想定した訓練 発災から3日経った避難所を中心に、避難所運営訓練や医療・福祉関連の訓練を実施するとともに、緊急物資輸送訓練や燃料補給訓練を行う。また、ライフライン事業者等による応急・復旧活動の訓練を実施。 3 展示・啓発等 川崎総合科学高等学校において、関係機関・企業等による展示・啓発等を実施。
--------------	--

<p>参加機関</p>	<p>【行政機関・消防機関】 陸上自衛隊第31普通科連隊 神奈川県警察（危機管理対策課、第二機動隊、幸警察署） 川崎市（各局・幸区役所） 幸消防団</p> <p>【住民組織等】 幸区自主防災組織連絡協議会 川崎総合科学高等学校避難所運営会議</p> <p>【医療関係機関・団体】 川崎市医師会 川崎市歯科医師会 川崎市看護協会 川崎市薬剤師会 神奈川県柔道整復師会川崎支部 日本DMAT（川崎市立井田病院、川崎市立多摩病院） 神奈川DMAT（関東労災病院） 川崎DMAT（日本医科大学武蔵小杉病院、聖マリアンナ医科大学病院）</p> <p>【福祉関係機関・団体】 神奈川DWA T（神奈川県災害派遣福祉チーム） 川崎市社会福祉協議会 幸区社会福祉協議会 川崎地区ケア輸送連絡会 特別養護老人ホーム みんなと暮らす町 川崎市聴覚障害者情報文化センター</p>
-------------	--

日本赤十字社神奈川県支部（秦野赤十字病院救護班）

【企業・団体等】

川崎市国際交流協会

神奈川県トラック協会 川崎サービスセンター

赤帽首都圏軽自動車運送協同組合 神奈川県支部

神奈川県LPガス協会 川崎南支部

川崎建設業協会 幸特設作業隊

東京電力パワーグリッド 川崎支社

NTT東日本 神奈川事業部

東京ガスネットワーク 神奈川導管ネットワークセンター

川崎市管工事業協同組合

※展示・啓発コーナーのみの参加機関をのぞく